

2016年8月

「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」 東京港見学・新聞づくり講習会の実施について

公益財団法人 日本海事広報協会

7月28日（木）に、「ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞」の一環として小中学生とその保護者を対象に「東京港見学・新聞づくり講習会」を実施し、小・中学生22名、保護者18名の計40名が参加しました。午前中は株式会社宇徳、株式会社商船三井の協力を得て、東京国際コンテナターミナルを見学しました。午後には、株式会社商船三井から船員のお二人を迎え、子どもジャーナリスト記者会を実施後、全国新聞教育研究協議会の先生方のご指導のもと、「海運」や「港」をテーマに新聞づくりを行いました。

参加者からは「普段入れない場所の見学ができ、船員さんの貴重なお話も聞け、とても楽しい1日でした。」「勉強になりました。頑張って新聞を仕上げます。」などのご意見をいただきました。

<実施概要>

日 時：7月28日（木）10:00～15:30

内 容：

(1) 東京国際コンテナターミナル見学会（90分）

「コンテナターミナル」や「コンテナ船」についてのレクチャーを受けたあと、コンテナヤードを見学。



(2) 新聞づくり講習会 (120分)

・ 子どもジャーナリスト記者会

商船三井 蝦名雄揮氏 (二等航海士)、大瀧悠介氏 (二等機関士) より「船員という仕事」についてご講話いただいた後、子どもジャーナリストの取材タイムが始まりました。「どうして船員になったの?」「女性船員はいますか?」「船のエンジンは日本製?」など様々な質問が出ました。



・ 新聞づくり講習会

全国新聞教育研究協議会 新宿区立四谷中学校 田村先生／荒川区立第九中学校 香山先生のご指導のもと、コンテナターミナルの見学や船員さん達との交流を通して学んだことをテーマに新聞づくりが行われました。



「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」は、10月31日に作品募集を締切、審査のうえ、国土交通大臣賞、日本海事広報協会会長賞ほか各賞を決定・発表いたします。